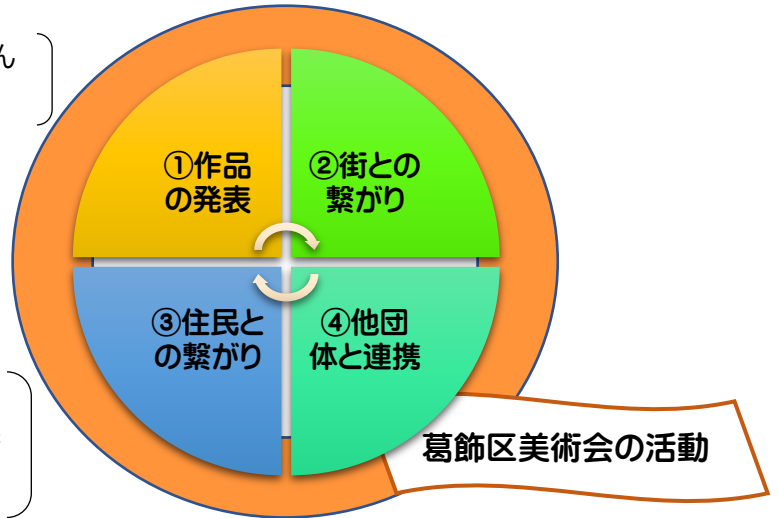


## ■ 葛飾区美術会の主な活動の現状

- ① 作品の発表 ・葛飾の美術家展（シンフォニーギャラリー） ・小品展等の企画展
- ② 街への繋がり ・公共施設での展示 ・絵葉書販売
- ③ 住民との繋がり ・ワークショップ、ギャラリートーク（ギャラリー） ・裸婦絵画教室（アトリエ）
- ④ 他団体との連携 ・若手アートコンペ

①～④は別々のものではありません  
互いに関連しています。

これから先、その中のどこに  
フォーカスして展開していくかで  
様相が異なっていきます。



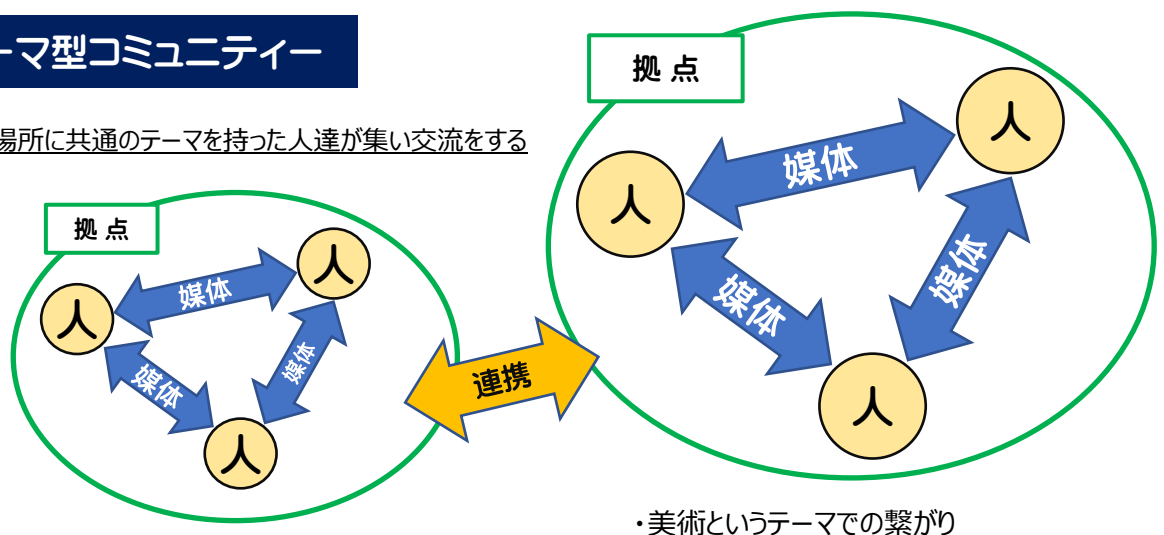
## ■ 葛飾区美術会のこれからの方向

これまでの美術団体は発表の場の提供が主な役割でした。時代が移りその役割も変えていくべき時に来ていると考えます。  
事業計画のスローガン：「街中に活動の場を広げよう」に同期すれば②と③に重心を徐々にシフトすべきと思います。  
住民や街と繋がる活動に注力していても、「葛飾の美術家展」は主たる事業に変わりはありません。

方向性をキーワードにすると「**美術を通じてのコミュニティ作り**」になろうかと思っています。

### テーマ型コミュニティ

※ ある場所に共通のテーマを持った人達が集い交流をする



- 1) 人 ➡ 例として：近隣住民、葛飾区民、近隣行政区、他の美術団体、ウイーン
- 2) 媒体 ➡ 例として：絵画、工芸、民芸、手芸、写真、書道、音楽、踊り
- 3) 拠点 ➡ 例として：空き店舗、空き家、借家、貸店舗、貸ギャラリー、個人宅、公共施設
- 4) テーマ ➡ カテゴリー：教える、習う、見る、売る、買う、話す（媒体各々に）